

◆ 今週のコメント

- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例で、散発、家族内感染の報告です。本年の累積報告数は47例で、内訳は、有症者36例、保菌者(無症状)11例です。
- ・アメーバ赤痢の報告が1例で、本年の累積報告数は17例です。過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期の累積報告数(4～16例)と比較して、最も多くなっています。性別は男12例、女5例で、病型別にみると、腸管アメーバ症15例、腸管外アメーバ症2例となっています。推定感染経路は、経口感染5例、性行為感染2例、不明10例です。推定感染地域は、国内での感染が13例で76.5%を占めています。

◆ 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3.76で、先週(3.10)に比べて多く、過去5年平均値(2.81)をやや上回る値となっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・平成19年5月25日から始まった、京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数については、別紙「京都市麻しん全数発生報告」に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・二類:結核 7例(肺結核 5例 その他 2例)(第36・39週追加分を含む)
- ・三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT1VT2) 2例
- ・五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.76	154
	② 突発性発しん	0.49	20
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	11
	③ 水痘	0.27	11
	⑤ ヘルパンギーナ	0.15	6
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

病原体情報

ありません。

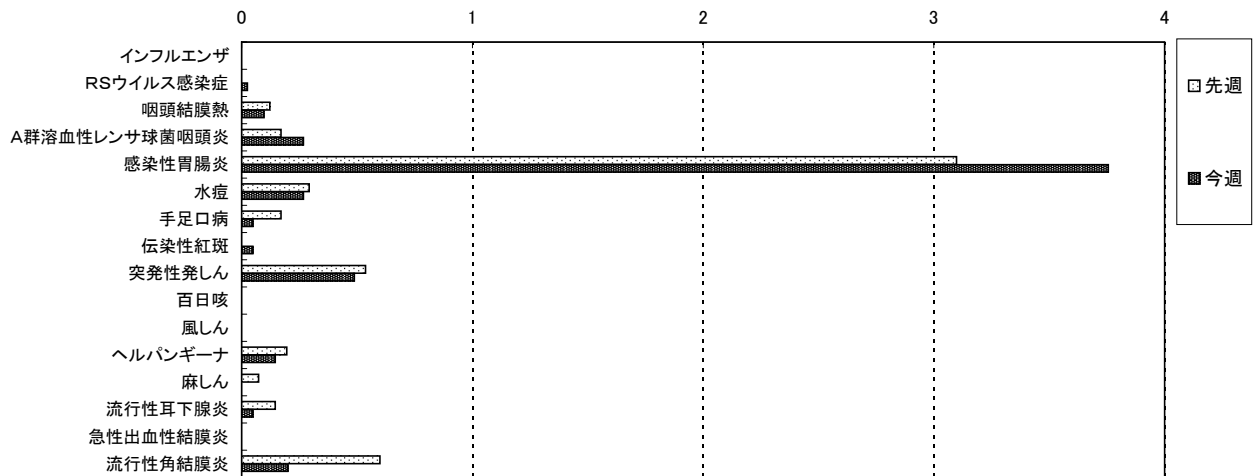
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<感染性胃腸炎> / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

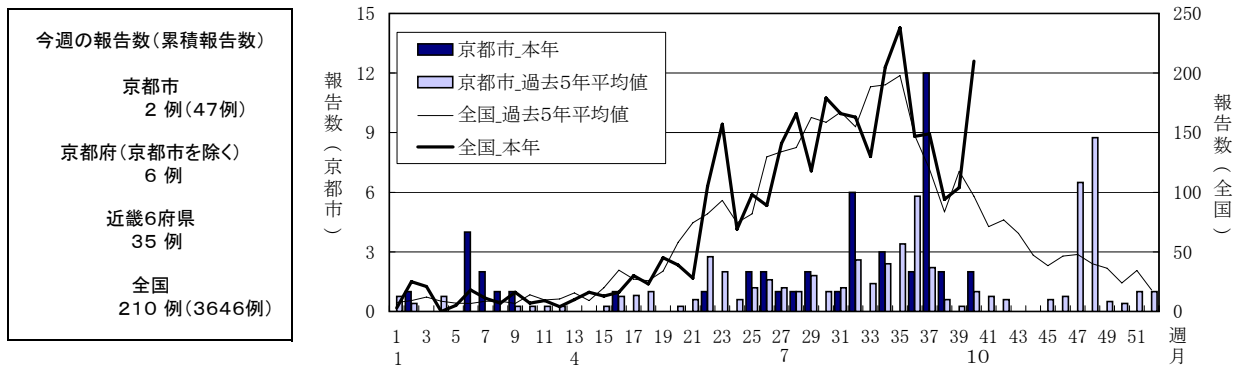
(注) 京都市のデータは、平成19年10月12日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第40週)と先週(第39週)の定点当たり報告数の比較

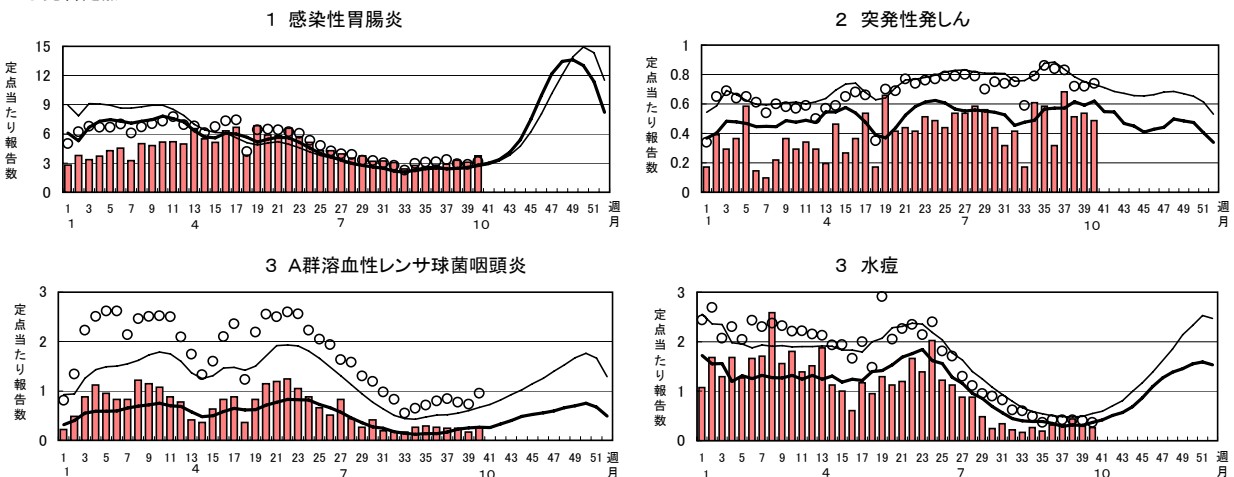


2 腸管出血性大腸菌感染症(三類感染症)の推移

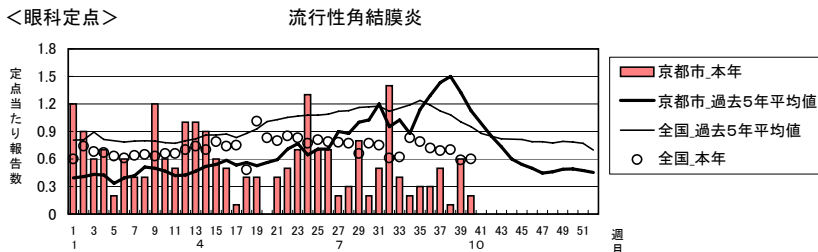


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



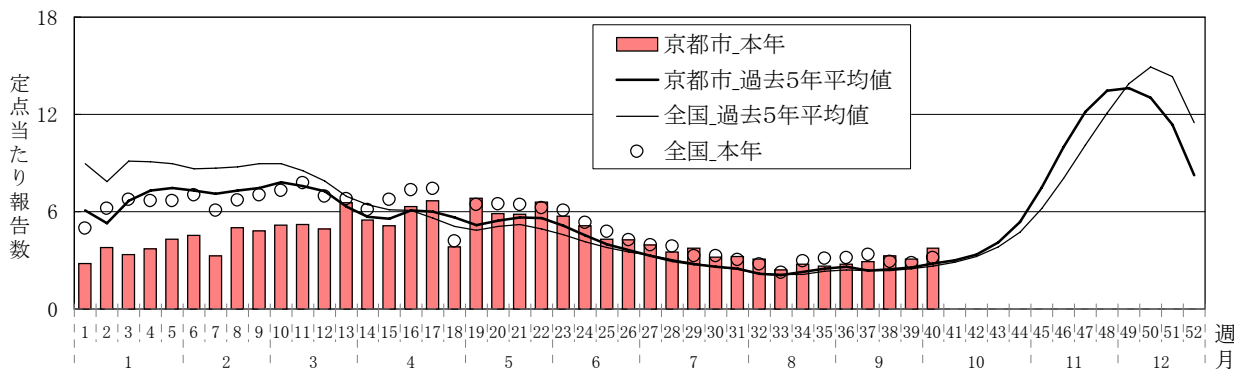
今週(第40週)のトピックス: <感染性胃腸炎>

定点当たり報告数は3.76で、先週(3.10)に比べて多く、過去5年平均値(2.81)をやや上回る値となっています。本年の推移は、第19週以降、過去5年平均値をやや上回る状態が継続しています。

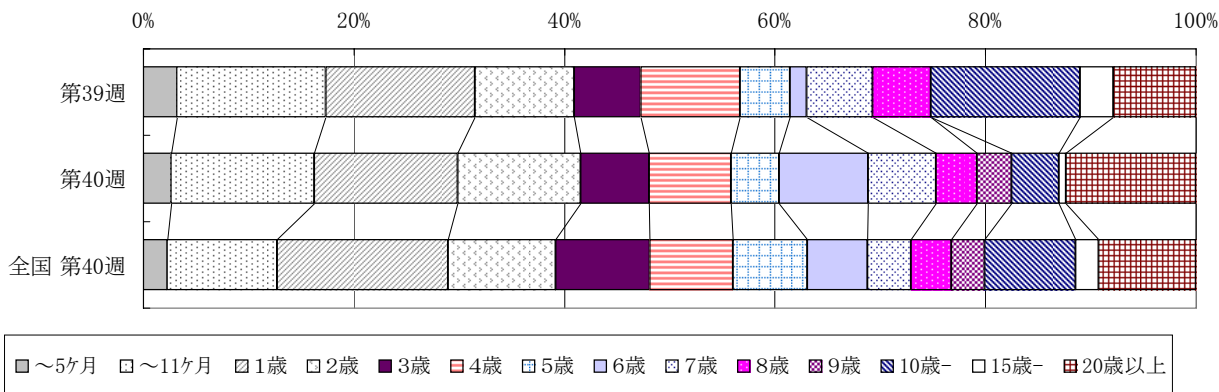
年齢階級別構成割合をみると、先週は、6～11ヶ月、1歳、10～14歳の3階級が最も多く、今週は、6～11ヶ月、1歳の2階級がともに最も多くなっており、次いで20歳以上となっています。乳幼児及び高齢者は重症化しやすいので、特に手洗いの励行が必要です。また、集団生活施設や医療機関、ホテルなどにおいては、集団発生の例もあり、患者の吐物、下痢便から感染しないように適切な処理と消毒(次亜塩素酸ナトリウムなど)が必要です。

行政区別では、先週に比べ、11行政区中、7行政区で増加しています。今後、冬季にかけて増加が予想されますので、動向にご注意ください。

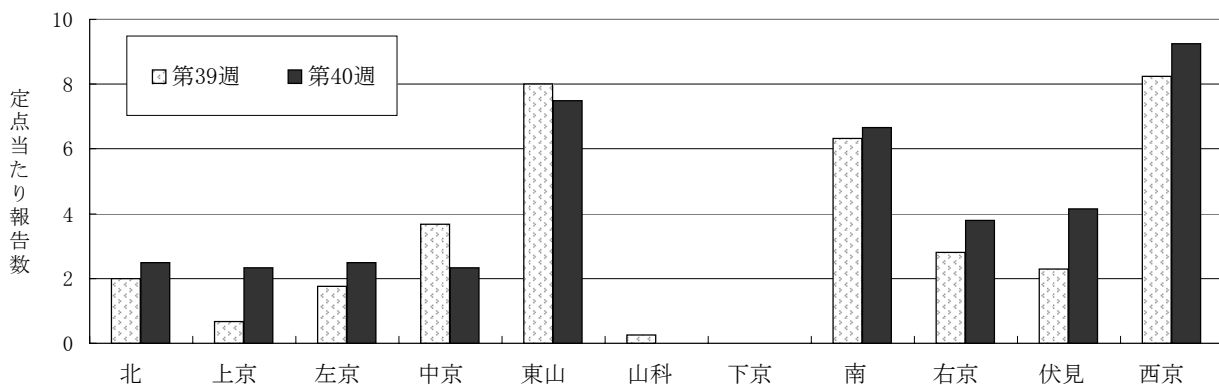
定点当たり報告数の推移



本市及び全国との年齢階級別構成割合の比較



行政区別にみた定点当たり報告数



京都市麻しん全数発生報告

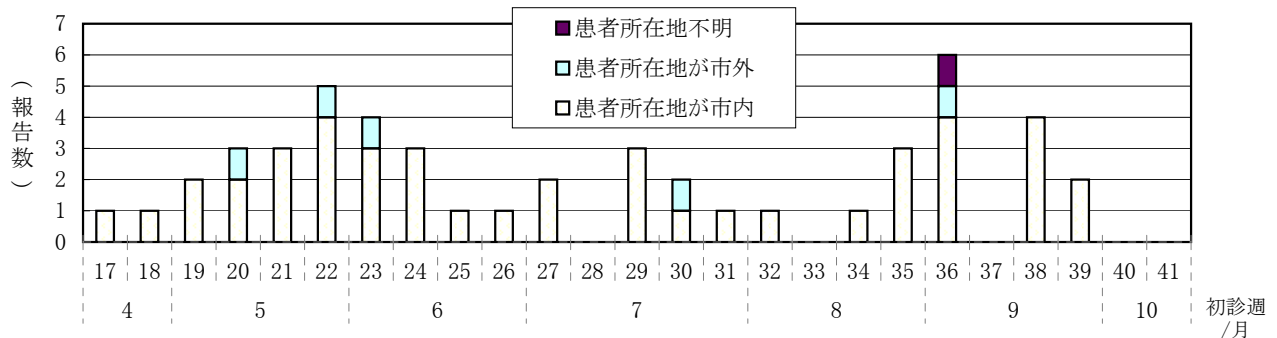
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から10月14日までの報告を初診週別に集計しています。

1 推移

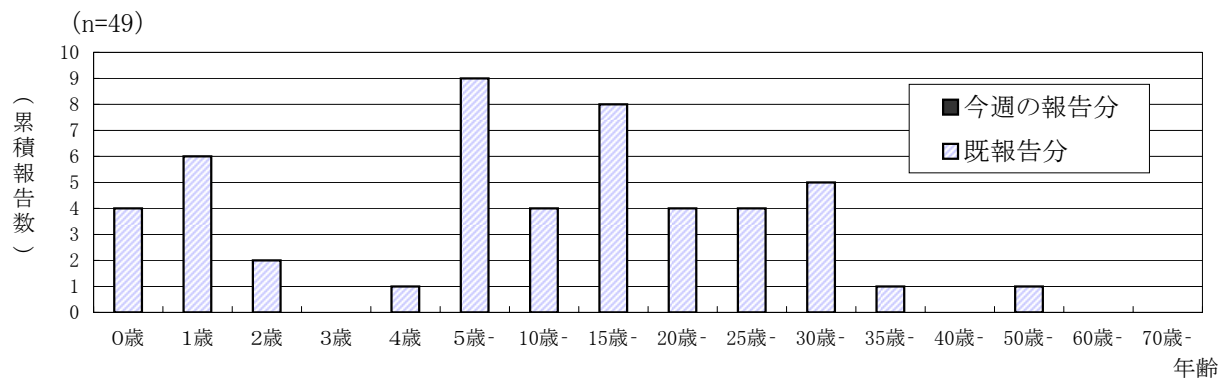
	初診週	第37週	第38週	第39週	第40週	第41週	累積報告数 (第17週以降)
今週の報告分		-	-	-	-	-	-
既報告分		-	4	2	-	-	49
合計		-	4	2	-	-	49

2 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (調査開始時～最新週まで)



3 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第40週

疾病,保健所別報告数

平成19年10月1日～平成19年10月7日

データ入手日:平成19年10月12日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	3	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	1	7	-	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1	-	-	15	2	1	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	3	20	5	-	-	3	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	19	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
伏見	-	-	3	1	29	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	1	3	37	1	-	2	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	1	4	11	154	11	2	2	20	-	-	6	-	2	-	2	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん
男女合計	-	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	2.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.75	2.50	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	0.33	2.33	-	-	-	1.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	0.50	-	-	7.50	1.00	0.50	-	1.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.00	6.67	1.67	-	-	1.00	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	-	-	3.80	-	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.43	0.14	4.14	0.29	-	-	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	0.25	0.75	9.25	0.25	-	0.50	1.00	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	0.02	0.10	0.27	3.76	0.27	0.05	0.05	0.49	-	-	0.15	-	0.05	-	0.20	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第40週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年10月1日～平成19年10月7日

データ入手日:平成19年10月12日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	4	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	11	1	-	-	1	1	1	2	1	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	154	4	21	21	18	10	12	7	13	10	6	5	7	1	19	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	11	1	1	5	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	20	-	13	6	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	6	-	4	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.10	-	0.02	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.27	0.02	-	-	0.02	0.02	0.02	0.05	0.02	-	-	0.02	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	3.76	0.10	0.51	0.51	0.44	0.24	0.29	0.17	0.32	0.24	0.15	0.12	0.17	0.02	0.46	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢1	0.27	0.02	0.02	0.12	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢1	0.05	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.49	-	0.32	0.15	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.15	-	0.10	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.20	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第40週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年10月12日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	1
咽頭結膜熱	2	4	5	8	5	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	11	10	10	7	11
感染性胃腸炎	108	114	119	135	127	154
水痘	8	13	13	18	12	11
手足口病	15	7	5	3	7	2
伝染性紅斑	1	8	3	-	-	2
突発性発しん	24	13	28	21	22	20
百日咳	1	-	-	-	-	-
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	19	23	24	9	8	6
麻しん (※)	2	4	-	1	3	-
流行性耳下腺炎	10	9	6	4	6	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	3	5	1	6	2
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	205	209	218	210	203	215

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	0.02
咽頭結膜熱	0.05	0.10	0.12	0.20	0.12	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	0.27	0.24	0.24	0.17	0.27
感染性胃腸炎	2.63	2.78	2.90	3.29	3.10	3.76
水痘	0.20	0.32	0.32	0.44	0.29	0.27
手足口病	0.37	0.17	0.12	0.07	0.17	0.05
伝染性紅斑	0.02	0.20	0.07	-	-	0.05
突発性発しん	0.59	0.32	0.68	0.51	0.54	0.49
百日咳	0.02	-	-	-	-	-
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.46	0.56	0.59	0.22	0.20	0.15
麻しん (※)	0.05	0.10	-	0.02	0.07	-
流行性耳下腺炎	0.24	0.22	0.15	0.10	0.15	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.30	0.50	0.10	0.60	0.20
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	5.23	5.32	5.70	5.20	5.40	5.40

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。